

## 『黄金分割』から見た株価の見方（第 20 回）

kuwayama

平成 17 年 12 月 16 日(金)

今年の株式市場は「歴史的な大相場」のスタートであった様に思われる。特に出来高、売買代金、外人買い（約 10 兆円）そして新しい動きは「個人のホームトレードによる売買シェア拡大」など、どれをとって見ても記録的である。かつての「バブル時代」と違う事は「土地」や「ゴルフ場」の値上りや「土地担保にした銀行貸出」（銀行借入による企業の株式投資など）による株式投資などのような状況にはない。日本はいまだに「デフレ脱却」が出来ずにゼロ金利状態が続いている。リチャード・クーに言わせれば「日本経済は朝の 4 時半」状態だそうである。「事業会社はゼロ金利でも借金を返済しており、借金をしてまで設備投資はしないだろう」と言う。「バランスシート不況」の怖さを思い知らされた企業は行動が慎重である。すでに「トンネル」を抜けた一部の企業は潤沢な自己資金で「自社株買い」は終えて、「M&A」や「設備投資」、「研究投資」などに前向きな次の「一手」を打ち出している。はたして一年後の今ごろ「日銀」は 0.25%金利を上げているだろうか。「デフレ脱却宣言」が春先には出来るだろうか。2%成長が継続し、「設備投資」や「個人消費」が堅調に伸びて、「日米経済」も「世界経済」もはたして順調に上昇を継続できるか。時期尚早の「財政改革」を声だかに唱えると、「増税」が景気の足を折り、橋本内閣の政策失敗の二の舞になりはしないか。「原油」価格はもう一度 70 ドルに上がりはしないか、「為替」は 110 円を切る円高にならないだろうか、「小泉首相の後」は誰が総理になるのだろうか、「構造改革」は継続するのだろうか、「企業業績」はさらに上昇するだろうか、そして「外人買い」は来年も継続するだろうか、「売超してはこないだろうか」、「テロ」は、「地震」は、心配や不安なリスク要因は「株式投資」に付き物である。

さて「黄金分割」から見た「日経平均株価」の見方は何度も触れたが、4/21 安値 **10,770** 円スタートの第一波動は **13,000 円、14,200 円、15,300 円**、そして「黄金分割」の完成は **17,500 円** である。現在 を抜いて 15,885 円（12/14）高値を付けてから、500 円強の押目を形成している。ここまで上昇のピッチが少し早すぎたと見ている。10 月に 1 ヶ月調整したが、今回も 15,885 円～14500 円でスピード調整した方が先のためにも良いと私は見ている。「相場」と言うものは「せっかち」なものである。15,000 円まで回復したのだから、1～2 ヶ月休んでもいいのだ。その方が先で上がる力が出る力が出る力が出る力が出る力が出る。しかし今度は NY や Nasdaq が待ってくれるかどうかである。意外とアメリカが堅調であり、日本の株価が調整しても、下支えしそうである。

問題は「為替」である。121.39 円（12/5）が 101.70 円（1/17）からの「円安」相場の最終かどうかである。102 円 123 円（134 円）が「黄金分割」から見た円安の波動である。123 円を切れば の 134 円へ向かう。しかし 12/14 に一機に 116 円台に 4 円以上円高に振れた事で、流れが変わったかに見える。株価も敏感に、輸出関連株中心に 2 日で 500 円急落した。私は 115 円～114 円台までの円高と見ている。1 ヶ月弱で再度 121 円挑戦し、いずれ の 123 円を取ると見ている。私は「黄金分割」を信じたいのだ。これまで「黄金

分割」で「為替」は的中してきたからである。「原油」(WTI)は 70.85 ドル (8/30) 高値から値下りし、55.40 ドル (11/18) で当面の安値を付けた。(値下りの「黄金分割」は 70.85 ドル 61.9 ドル、 57.4 ドル、 52.9 ドル、 43.8 ドル) 55.4 ドルを安値に 61 ドル前後まで反発していますが、 66.8 ドルが第一波動になる。12 月～来年 2 月に 65 ドル前後まで上がる可能性があるとする。「金」価格は 12/12 に 538.5 で高値を形成した後、急落している。

NY 株価は 11,000 ドルをクリアする可能性が高いと見る。Nasdaq もここ 1 ヶ月 2250 中心のもみ合いであったが、そろそろ 12/6 高値の 2278 を抜けて、2300 台をクリアして新値街道を上昇する可能性が高いと見ている。次に主要な銘柄の「黄金分割」から見た株価の「実証分析」と「予測」をして見たい。

新日鉄 (5401) 12/15(420 円)終値・・・当面 420 円中心に ±30 円のボックス相場。

457 円の新値抜けから新しい相場がスタート。

9/29 **高値 457 円** 400 円、 371 円 (10/17 **391 円安値**)

**391 円安値** 472 円 (11/8 **450 円高値**)、 512 円、 552 円、 632 円

住金 (5405) 12/15(462 円)終値・・・12/13 **新高値 493 円**を取る。下値切り上げ、右上がりで強い相場。

**374 円安値** 451 円、 **490 円 (達成)** 528 円、 605 円

三菱商事 (8058) 12/15(2,615 円)終値・・・12/14 **新高値 2,705 円**を取る。下値切上げ、右上がりの強い相場。

**1,982 円安値** 2,380 円、 **2,580 円**、 2,790 円、 3,200 円

三菱 UFJ (8306) 12/15(163 万円)終値・・・12/12 **170 万円高値面**あわせ。170 万円抜ければ新しい相場。(170 万円が抵抗線)

**147 万円安値** 178 万円、 193 万円、 208 万円

トヨタ (7203) 12/15(5,670 円)終値・・・11/21 **高値 6,080 円**しばらく抜けないか？。

円高 円安 121 円抜けから 6,000 円再挑戦。

**4,950 円安値** **5,970 円**、 6,480 円、 6,990 円

キャノン (7751) 12/15(6,870 円)終値・・・12/13 **新値 7,170 円**を取る。堅調。

**5,940 円安値** **7,040 円**、 7,600 円、 8,700 円

武田 (4502) 12/15(6,430 円)終値・・・10/3 **高値 6,950 円**、12/2 戻り高値 6,880 円。

**6,230 円安値** 7,500 円。しばらく 6,500 円中心の三角もち合い。

千代建 (6366) 12/15(2,405 円)終値・・・12/12 **2,570 円新値**。右上がりの強い相場。

**1,813 円安値** 2,190 円、 2,370 円、 **2,560 円 (達成)** 2,930 円

松下 (6752) 12/15(2,255 円)終値・・・石油ストーブ回収問題。 **高値 2,515 円**(11/24) 当面 2,200 円下値か。

**1,900 円安値** 2,290 円、 **2,490 円 (達成)** 2,680 円、 3,070 円

富士通 (6702) 12/15(841 円)終値・・・東証 CP 問題。 **高値 913 円** (12/2) 下値模索。

**727 円安値** **880 円 (達成)** 950 円、 1,030 円

野村(8604) 12/15(2,100 円)終値・・・12/12 **2,245 円高値**( **1,970 円**)  
**1,623 円安値** **1,960 円、 2,120 円(達成)** **2,290 円、 2,620 円**

ソフトバンク(9984) 12/15(10,470 円)終値・・・注: 2006/1/5(1:3 株式分割)  
**6,150 円安値** **9,950 円(達成)** **1,2100 円** (権利付き 12/27 までにどうか?)  
 12/5 **11,170 円高値** **9,600 円・・・** **9,750 円 12/8 安値** **11,800 円(?)**

ヤフー(4689) 12/15(145,000 円)終値・・・11/18 **157,000 円高値** ( **137,000 円ピタ**  
**リ** **166,000 円**)  
 10/26 **117,000 円安値** **141,000 円、 153,000 円、 165,000 円、 189,000 円**

楽天(4755) 12/15(91,300 円)終値・・・TBS 問題しばらく休戦。12/15 **92,600 円新値。**  
**72,700 円安値** **88,000 円、 95,000 円、 103,000 円**

ワコム(6727) 12/15(212,000 円)終値・・・**12/27 上場** (公募増資 2 万株 193,030 円)  
**182,000 円安値** **220,000 円、 238,000 円、 257,000 円**

**解説**: 以上は「黄金分割」から見た見方であり、投資判断は「自己責任」でお願いします。

( 内の数字は「黄金比率」の値上り、値下りの順番を示す。12 月 14 日から調整場面に入りかけています。個々の銘柄も安値をつけています。10 月の調整場面でもその時の安値を起点にした上昇の「黄金分割」を見ました。今後の「相場」を見るうえで大きなヒントを与えてくれるものと思います。

「黄金分割」には時間の概念は入りません。 は 1.21%、 が 1.31%、 は 1.42%、そして が 1.618%で「黄金比率」が完成です。 をクリアする事が「相場」の前提です。

までか、 まで上がるか、 を形成するかは神様しかわかりませんが、各人の判断です。